

「いのちのバトン 薬はみんなで作るもの パートV」

～がん臨床試験・治験について患者・市民の視点で考える～

－市民の声を創薬・社会保障制度に活かす－

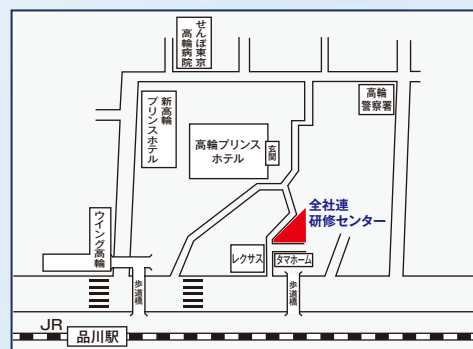
日時 2013年11月16日(土) 13:00-17:00

場所 全社連研修センター 本館 地下会議室

社団法人全国社会保険協会連合会
東京都港区高輪3丁目22番12号

参加費 無料 (定員 200名)

※会場には駐車場はございません。公共交通機関を利用してお越しください。



● **はじめに** (13:00-13:10)

内田 絵子 NPO法人ブーゲンビリア理事長 乳がん体験者

● **第1部 基調講演** (13:10-14:00)

伊藤 雅治 氏 社団法人全国社会保険協会連合会 理事長

藤原 康弘 医師 国立がん研究センター中央病院 企画戦略局長 乳腺・腫瘍内科科長

● **第2部 がん臨床試験・治験について現場の立場から** (14:00-15:00)

コーディネーター：埴岡 健一 氏 NPO法人日本医療政策機構理事 がん政策情報センター長

小嶋 修一 氏 TBS 報道局解説委員 精巣がん体験者

岩瀬 哲 医師 東京大学医科学研究所附属病院 緩和医療科 特任講師

廣橋 朋子 ファイザー株式会社 オンコロジー領域部 部長

渡邊 清高 医師 国立がん研究センターがん対策情報センター 消化器内科医

内田 絵子 NPO法人ブーゲンビリア理事長 乳がん体験者

● **第3部 パネルディスカッション** (15:15-17:00)

コーディネーター：埴岡 健一 氏 NPO法人日本医療政策機構理事 がん政策情報センター長

岩瀬 哲 医師 東京大学医科学研究所附属病院 緩和医療科 特任講師

伊藤 雅治 氏 社団法人全国社会保険協会連合会 理事長

内田 絵子 NPO法人ブーゲンビリア理事長 乳がん体験者

小嶋 修一 氏 TBS 報道局解説委員 精巣がん体験者

藤原 康弘 医師 国立がん研究センター中央病院 企画戦略局長 乳腺・腫瘍内科科長

廣橋 朋子 ファイザー株式会社 オンコロジー領域部 部長

渡邊 清高 医師 国立がん研究センターがん対策情報センター 消化器内科医

共催：NPO法人ブーゲンビリア・ファイザー株式会社



問い合わせ先

「いのちのバトン 薬はみんなで作るもの パートV」事務局
e-mail: inochinobaton-5@earth1.jp